

総 扉

はじめに

はじめて InDesign を使ったとき、まず、フレームグリッドとプレーンテキスト間のコピー＆ペーストに戸惑いました。同じものがそのままコピーできと思っていたので…。

しばらくは、そんなものかとコピーを避けるように使っていたのですが、ある日、英語版の InDesign に触れたとき、シンプルなツールパネルに違和感を感じました。

その理由は、グリッドツールが無いからです。

「そうか！英語には縦書きがないんだ」

日本語は縦にも横にも組む。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットもごちゃまぜだ。

そんなあたりまえのことを考えるようになったのがきっかけで、InDesign のことが少しずつ理解できるようになりました。

InDesign は難しいと思っているなら、たぶんそれは間違いだと思います。難しいのは日本語組版です。

なんでもアリの日本語組版に、InDesign は応えようといろいろな機能を搭載しているからです。

また、電子書籍などの版型を固定しないレイアウトに対応する流れもあり、ますます複雑になっています。

本書が InDesign を理解するきっかけとなり、活用する助けになれば幸いです。

2012年9月
広田正康

●免責

本書に記載された内容は、情報の提供だけを目的としています。したがって、本書を用いた運用は、必ずお客様自身の責任と判断によって行ってください。これらの情報の運用の結果について、技術評論社および著者はいかなる責任も負いません。

本書記載の情報は、2012年9月現在のものを掲載していますので、ご利用時には、変更されている場合があります。

また、ソフトウェアに関する記述は、特に断わりのないかぎり、2012年9月現在でのバージョンをもとにしています。ソフトウェアはバージョンアップされる場合があり、本書での説明とは機能内容や画面図などが異なってしまうこともあり得ます。本書ご購入の前に、必ずバージョン番号をご確認ください。

以上の注意事項をご承諾いただいた上で、本書をご利用願います。これらの注意事項をお読みいただくに、お問い合わせいただいても、技術評論社および著者は対処しかねます。あらかじめ、ご承知おきください。

●動作環境

本書は Windows と Mac OS X の InDesign CS4/CS5/CS5.5/CS6 を対象としております。

また、本文に使用している画像に関しては、Adobe InDesign CS6 の Mac 版にて解説を行っております。Windows の場合、また InDesign の以前のバージョンをお使いの場合、画面上違いがありますが、解説をよくお読みの上ご利用ください。

●商標、登録商標について

Adobe InDesign は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

本書に登場する製品名などは、一般に各社の登録商標または商標です。なお、本文中に ™、® などのマークは省略しているものもあります。

本書の使い方

本書は、エディトリアルデザインツールを代表するソフトである InDesign の使い方について解説しています。これから InDesign の使い方を学ぶ人から本格的に利用している人まで、InDesign の豊富な機能について操作方法や機能ごとに参照することができます。本書の構成は以下のようになっております。

節のタイトル

この節で解説する内容を簡潔に説明しています。

バージョン

解説内容に対応している InDesign のバージョンを表記しています。



操作の手順

各項目の操作の手順をステップごとに説明しています。

STEP1

STEP2

...

POINT

この項目の Tips やさらに覚えておきたい情報を説明しています。



03-04

パスに沿ったテキストの配置

CS4 CS5 CS5.5 CS6
パスのエッジに沿ってテキストを配置します。

パステキスト

パスに沿ったテキストは、ひとつのパスに1行しか配置できません。ただし、パステキストも連結できるので、複数のパスを使って複数行の曲がったテキストを作成することも可能です。ひとつのパステキストで改行するとオーバーセットになりますが、リンクしたパステキストでは、次のパスが改行の先頭になります。フレームの種類はテキスト「テキストフレーム」ですが、オブジェクトの属性は「割り当てなし」になります。

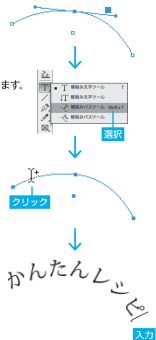
パステキストを作成する

STEP1 配置するパスを作成します。

STEP2 横組バズツールまたは縦組バズツールを選択します。

STEP3 ポインターをパスの上に重ねて、ポインターの横にプラス記号 + が表示されたらクリックします。

STEP4 テキスト挿入点が点滅したらテキストを入力します。



POINT

オープンパスの場合、どこをクリックしてもパスの始点(最初にアンカーポイントを作成した場所)でテキスト挿入点が点滅します。クローズパスはクリックした位置で点滅します。テキストの位置はいつでも変更可能です。

76

■ショートカットキーの表記

本書は Mac OS X の画面を掲載していますが、内容は Mac OS X と Windows の両 OS に対応しています。ショートカットキーについても、Mac OS X と Windows のショートカットキーを併記してあります。

◆表記例 プリントのショートカットキー

Mac OS X → **command** + **P**

Windows → **Ctrl** + **P**

※ Windows のショートカットキーの前には **Windows** が入っています。

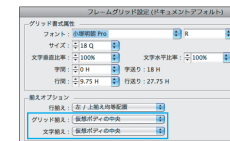
03-13 文字揃えと行送り

フレームグリッドの文字揃えとグリッド揃え

フレームグリッドにサイズの異なるテキストを配置したときの文字位置は、フレームグリッド設定の「文字揃え」(小さい文字を大きい文字のどこにそろえるか)と「グリッド揃え」(各行の大きい文字のどこをグリッドにそろえるか)に従います。

初期設定は「文字揃え」、「グリッド揃え」共に「仮想ボディの中央」なので、行中に異なるサイズの文字があっても各文字はグリッドの中央にそろいます。

グリッドよりも大きい文字を中央以外でそろえるとき、ベースラインシフトで調整すると、他の小さい文字とグリッドがズレることはありません。



行送りの基準を設定する 段S 段S ▶日本語文字組版

「段落」パネルメニューにある「行送りの基準位置」で設定します。

初期設定の行送りの基準位置は「仮想ボディの上/右」です。これは、次の行に対して行送りを適用する設定で、現在の行の仮想ボディの上(縦組は右)から次の行の仮想ボディの上(縦組は右)まで行送りの間隔を空ける設定です。それ以外の設定は、前の行に対して行送りを適用する設定です。たとえば、「仮想ボディの下/左」に設定すると、前の行の仮想ボディの下(縦組は左)から現在の行の仮想ボディの下(縦組は左)まで行送りの間隔を空ける設定です。

このため、前の段落最終行が「仮想ボディの下/左」で、次の段落先頭行が「仮想ボディの上/右」の場合、行間に行送りが適用されずに行間が0(ゼロ)になります。

また、前の段落最終行が「仮想ボディの上/右」で、次の段落先頭行が「仮想ボディの下/左」の場合、行送りが重複します。この場合、行送りの値が大きい方が適用されます。



POINT

垂直・水平比率で大きくした文字に「文字」パネルメニューの「文字の比率を基準に行の高さを調整」を無効に設定すると、拡大する前の仮想ボディ、ベースラインのままの基準で行送りを適用します。

03章
テキスト
レイアウト

章のタイトル

章のタイトルです

段落・文字スタイル

見出しの機能が、段落スタイル、文字スタイルに対応しているときにはアイコンに色が付いています。スタイルを選んだ後に、▶の項目を設定します。



機能解説

バーやパネルの名称や機能を解説しています。

107